

兵庫県のみ漁場環境情報 (淡路周辺海域 2 号)

2024年10月31日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量はやや減少しています。窒素は、西浦海域で概ね $3 \mu\text{g at/L}$ 台、東浦海域で概ね $4 \mu\text{g at/L}$ 台、南浦海域で概ね $2 \sim 3 \mu\text{g at/L}$ の値となっています。

(珪藻)

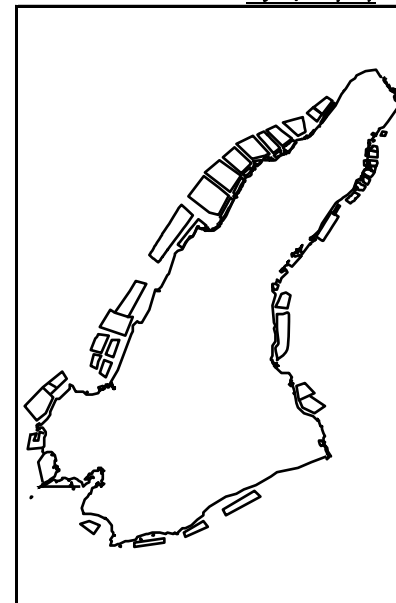
海域全般に、大型珪藻コシノディスカスの発生量はやや減少しており、小型珪藻はほぼ確認されない状況であった。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西浦海域で100~250細胞(前回値:100~300細胞)、東浦海域で150~300細胞(前回値:350~600細胞)、南浦海域で100~150細胞(前回値:300~400細胞)であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	3.9	4.8	3.5	1.6
	リン	0.63	0.60	0.48	0.53
西浦地先	窒素	2.9	3.6	4.5	2.7
	リン	0.62	0.61	0.60	0.73
南浦地先	窒素	2.5	2.8	3.3	1.6
	リン	0.59	0.58	0.54	0.69

(10/21)

(10/27)

水温図



栄養塩 (窒素) 図

2024年10月31日調査

